

2023年度 光が丘リーグ 育成戦(3年生以下)

試合方法/ローカルルール/グラウンドルール/順位決定方法

1. 試合方法

- (1) 試合は5イニング制とする。1時間10分を超えたら新しいイニング(次の回の表・裏の攻撃)に入らない。
- (2) 試合終了時に同点の場合は、両チームの最終メンバー各9名による抽選にて決する。
- (3) 1イニングの攻撃で5点目が入った時点で攻守交替とする
- (4) コールドゲームは、決勝戦のみ3イニング以降8点差とし、降雨および日没の場合は、当該試合審判が協議のうえ取扱いを決定し、4イニング終了で試合成立とする。尚降雨および日没コールドの再試合には、継続試合は適用しないものとする。
- (5) 試合進行は、審判員の指示に従うこと。会場により特設ルールを設ける場合は、審判員の権限においておこなう。
- (6) 投手に対するタイムについては1イニング1回までとし、2回目は投手交代とする。
- (7) ボークは適用しない。
- (8) インフィールドフライは適用しない。
- (9) チームに所属していない体験入部者や兄弟も参加を認める。
- (10) ランナーコーチはベンチ入りコーチもしくは登録選手のみとする。
- (11) 参加チームは試合の15分前までにスターティングメンバーを4枚(直筆1枚《本部用》と複写3枚を本部に提出すること。
- (12) 選手はユニフォームを着用し、試合中は必ず着帽のこと。但し体験入部者や兄弟等チームに所属していない選手に関してはユニフォームを着用しなくとも良しとする。
キャッチャーは、マスク、レガース、プロテクター、ファールカップ及びヘルメットを着用すること。また、打者・走者・ランナーコーチ・ボールボーイも危険防止のため必ずヘルメットを着用すること。
- (13) 監督、コーチのユニフォームは、選手と同色・同意匠とすること。
また、スコアラーは私服とし(アマチュアスポーツに相応しいスポーティーな服装)、所属チームの帽子を着帽し必ずスコアラーをつけること。
- (14) メガホンは監督かコーチのみの使用とし、1チーム1個とする。
- (15) 金属製ポイントのスパイクの使用は、禁止する。
- (16) シートノックは行わない。
- (17) 金属製バットはJSBBマーク入り以外の物の使用は認めない。
- (18) 試合球はナガセケンコーJ球とする。チーム2個試合球もメンバー票と一緒に出すこと。
- (19) 投手の投球数制限については、一人1日60球とする
- (20) 投手の練習投球は、試合開始時5球、イニング間は3球とする。投手交代時の投球練習は当該選手が試合内で始めて投球する場合は5球、再登板の場合は原則3球とする。但し、同一イニング内でない再登板の場合、審判団の判断や当該選手からの申し入れがあった場合は最大で5球まで可能とする。

2. 光が丘リーグ ローカルルール

- (1) 投手が投手板を外して牽制球を行い、悪送球等でそのままボールデッドとなった場合、塁上のランナーはテイクワンベースとする。
- (2) 野手がフライを完全捕球後にボールデッドラインを越えてしまった場合、バッターランナーは

- アウトとなり、塁上にランナーがいる場合、塁上のランナーには進塁権を与えないこととする。
- (3) その他ルールは練馬区軟式少年野球連盟が定める各年度のルールに準拠する。

3. グラウンドルール

- (1) グラウンドへの入場は事前にリーグから指定された時間以降とする。尚、当該グラウンド提供チームはこれに属さないものとする。
- (2) 次の試合を待つ間のアップは、当日の審判団に許可を得たうえで、ボールデッドゾーンでかつ試合進行の妨げにならない場所であれば、ボールを使った練習も可能とする。但し、試合進行の妨げにならないようチームスタッフを配置するなど最善をつくすこと。
- (3) グラウンド内でのノックはサイドノックのみ可能とする。
- (4) 試合前の素振りは距離を充分にとり、安全性を確保したうえで可能とする。試合開始後はネクストバッタースサークルおよびバッターボックスも含むグラウンド内での素振りは禁止とする。

4. 順位決定方法

- (1) 代表と1位、2位について)
- 単独で参加可能なチームのみで代表決定トーナメントを実施することとする。
- 優勝チームは1位とリーグ代表、準優勝チームは2位として決定することとする。
- 3位について)
- 代表決定トーナメント敗退チームと合同チームで抽選による3位決定トーナメントを実施して決定することとする。

2023年11月吉日
光が丘リーグ 審判部
審判長 原 豊